

「虫歯を削って、削った部分に 白い樹脂の材料を 詰める治療をします。」

こんにちは、歯科医師の福岡です。
さて、このようなフリーズを歯科医院で耳にしたことのある方も多いのではないでしょうか。虫歯を削り、その部分に白いものを詰め、何やら青い光を当てるような治療を目にしたことがある方もおられるかもしれません。ところがその白い樹脂とはいったいどういった材料なのでしょう。今回のコラムでは歯科で用いる樹脂の材料について簡単にお話をさせていただきます。

まず、「樹脂」という言葉。英語では Resin と書き日本語読みだとレジンと発音します。レジンは本来樹木から出た樹脂などが固まったものを指す言葉でした。古くは古代エジプトで用いられたものや、日本では生活になじみのある樹脂という漆の木からとれる樹脂が挙げられます。これら天然由来の樹脂については特に天然樹脂という呼び名が付けられています。しかし、

19世紀後半から今日に至るまでの工業の発展に伴いさまざまな種類の人工の樹脂が発明され、現在では樹脂と言えれば合成樹脂、俗に言うプラスチックのことを指すように時代が変化してきました。

さまざまな合成樹脂が開発され、それぞれ固有の特性を持つて発展してきましたが、現在歯科の現場で用いられている樹脂のほとんどがアクリル樹脂という材料です。アクリル樹脂という名前だけ聞くとピンと来ないかもしれませんが、実は生活の中でアクリル樹脂を見かける機会は多くあります。透明ではあるけれどもガラスではない材料。例えば時計の表示面や蛍光灯のカバー、水族館にあるような大きい水槽などはアクリル樹脂で作られている可能性が高いです。また、その名の通りアクリル絵の具の材料でもありますし、若い女性に人気のネイルアートの分野で用いられるのもアクリル樹脂であることが多いです。

アクリル樹脂の特徴として、もともと透明度が非常に高いものであるために新たに着色することが容易という利点があります。歯科で使うレジンは透明の物を使う機会は少なく、主に色付けられたものを用い

ます。歯に詰めるものや入れ歯に用いる人工の歯、金属の表面にレジンを張り付けて歯のように見せるかぶせ物などには白く着色されたレジンを、入れ歯で歯茎の色合いを再現するためには赤く着色されたレジンを、歯茎の色と用います。さらに、一言で歯の色、歯茎の色と言っても人種や年齢などによる個人差があり、色の系統や濃さが細かく多数取りそろってあります。

また、用途によって使用するレジにも特徴があります。

大きく2つに分けると粉と液を混ぜると反応が開始し時間の経過で固まるタイプ、粘土のような性状の樹脂に特定の波長の光を当てて固めるタイプに二分されます。

前者は入れ歯の修理や仮歯の作成など、後者は固まるまでに形を整える時間的な余裕があるため細かい作業を必要とする詰め物として用いることが多いです。



歯を削り、その部分を詰める処置はコンポジットレジン修復処置と呼ばれますが、コンポジットとは複数の物を合成したという意味でありアクリル樹脂にたくさんのもが添加されていることを意味します。主なものとしてセラミックを細かく砕いたような物質がたくさん入っています。理由としては、歯と歯、歯と食べ物、歯と歯ブラシなどの間で摩擦が起きる時に簡単に表面が削れたりしないように強化するという役割、そして屈折率を変化させたり透明度を上げることによって周りの歯との色合いを調和させて綺麗に見せるという役割があります。セラミックの粉砕の程度やその配合量によってたくさんの種類のコンポジットレジンが販売されています。

駆け足で歯科のレジンについて説明してきましたが、レジンは現在の歯科診療において必要不可欠な存在になっていくことをご理解いただけたでしょうか。今までの急速な発展を見ているとこれから先もレジンにはさらなる改良や改善が行われることでしょう。時代の流れに対応して常により良い治療法を提案しながら診療を行っていききたいと思えます。

歯科医師 福岡

今回は、入れ歯の製作過程についてお話しします。

入れ歯は、歯がなくなった時に行う処置です。最初に衛生士が口腔内の型を採り、その型に石膏を注入し模型を作ります。それをもとに技工士が入れ歯の土台を作り、咬む位置を決めます。そしてその土台に人工の歯を並べ、仮の入れ歯を作っていきます。その後咬み合わせ、歯並び、適合状態などを調整し、最終的に加工して入れ歯が完成します。こうして完成した入れ歯を医師が患者様の口腔内に合わせ、咬み合わせ等を調節し、しばらく様子を見ます。馴染ませた後に、違和感や痛みが出たり、咬み合わせの具合が悪ければ再度調整を行います。

入れ歯の製作過程で難しい点は、口腔内には柔らかいところ、硬いところがあり、そこに入れ歯を合わせることに難しい作業です。このような場合は医師と技工士が連携しながら何回も微調整を行う必要があります。1つの入れ歯は、医師と衛生士、技工士の共同作業により製作され、そして患者様の入れ歯に対する理解と順応しようとする努力があつて、それぞれの患者様に適合していきます。

歯科技工士 島

藤崎歯科医院の「個人情報保護法」への対応について

当医院は受診される皆様の個人情報収集及び管理をさせていただきます。

歯科医院における個人情報とは、受診される方の氏名、住所、生年月日、電話番号、職業、健康保健情報、問診表、診療録、診療内容、エックス線写真などがあります。そのような個人情報を守り、安心して治療が受けられるよう努めます。

患者様とのコミュニケーションとして毎年、年賀状・ペンタールニュースを発送しておりますが、希望されない場合は情報を削除いたしますので受付までご連絡ください。